

「知ってワクワク！春の植物さがし」開催レポート

令和4年4月23日（土） 会場：柳原千草園

足立区柳原にある「柳原千草園」へ、春の陽気に揺られる植物を探しに行きました。

緑の協力員（緑に関するボランティア）が樹木の名前や特徴を解説し、参加者のみなさんとおしゃべりを楽しみながら、植物の観察をしました。



和菓子を食べる時に使う菓子楊枝の黒文字。その材料になる「クロモジ」の木の乾燥させた枝からは甘くさっぱりとした香りがしました。



青々と茂る「イロハモミジ」。緑の葉は秋に赤く紅葉します。紅葉と新緑、季節によって変化するその姿を楽しめます。



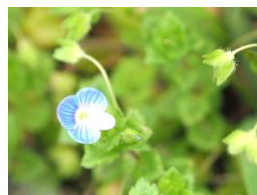
カタバミ



ホトケノザ



ヒメオドリコソウ



オオイヌノフグリ



シロバナタンポポ

草花もたくさん見つけれられました。

カタバミの葉を使って、黒ずんだ十円玉を磨くと・・・葉に含まれる「シュウ酸」の効果で、十円玉の表面がピカピカになりました。



←ハート形の三つ葉が目印です。

植物を身近に感じられました。（70代）

よく見る木や草花もしっかり覚えることができなかったなので、今回を機会に覚えたいと思いました。（40代）

明るく楽しくお話くださって、楽しく参加できました。（30代）

次回の千草園での講座も楽しみにしています。（70代）

参加者の声

